

吹奏楽同好会 初舞台

～あおがき道の駅の夕べ～

「部活動の活性化」は、今年度の本校の重要なテーマひとつです。

氷上西高校は小規模校のため団体で取り組むスポーツや文化活動は、大規模校に比べてどうしてもむずかしくなります。全校生徒数が114名ですので、仮に全校生徒の1割が入部すれば部員が12名になります。しかし、全校生の1割が同じ部に入部するということは滅多にありません。そのため、団体種目に必要なメンバーの数が確保できないのが現状です。

そんな中で、今年度からいくつかの同好会、サークルが活動を始めました。フットサル、吹奏楽、バスケットボール、ダンスです。中学校でやっていた活動を高校でもやりたいのに、その部活動がないという生徒の声を受けて、顧問が他の部活動と兼部をしながら活動を開始しました。部活動をとおしていろいろな体験をさせたいという思いから、各顧問の教員が熱心に指導にあたり生徒たちは活動に取り組んでいます。

吹奏楽同好会は、この度、初めて地域の行事で演奏します。3年生が2名、2年生が1名、1年生が4名の7名です。それに青垣中学校吹奏楽部の生徒3名が加わった合同演奏を10名で行います。本番に向けて、合同練習も行っており、当日は中高連携の成果を発表したいと思います。

(校長 高橋信之)

明かりが包む幻想空間

夏の夜に明かりをともし祭り「あおがき道の駅の夕べ2017」が23日午後5時から同9時まで、丹波市青垣町西芦田の道の駅あおがきで開かれる。ペットボトルを使ったあんどんや木枠の灯籠が幻想的な空間を演出する。

地元住民らによる実行委員会が主催する。テーマは「みんなでつなごうあかりの輪」。認定こども園の園児らによる手描きのあんどんなどが会場を照

23日
丹波
イ・青
垣
ト

らす。日没後に明かりをつける。

祭りは、氷上西高校や青垣中学校の生徒らによる吹奏楽、太鼓の演奏でスタート。たこ焼きや焼きそばなど食べ物の屋台のほか、金魚すくいなど子どもが遊べる出店やゲームコーナー、手作り雑貨の販売などがある。

当日は来場者が、気に入った灯籠を選んで投票し、優秀とされた作品には後日、粗品を贈る。

道の駅あおがきへは、北近畿豊岡自動車道青垣ICを下車し左折約100m。問い合わせは、実行委員会事務局（関西大学佐治スタジオの植地さん）☎090・1474・4257か、あおがき観光案内所☎0795・87・2222へ。（金井恒幸）



あんどんの明かりが照らし出す昨年の会場＝道の駅あおがき

